

2020年2月号

2月15日(土)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 281



ようやくの積雪も…

2月に入り、待ちに待った大雪!雪原に立つキタキツネも勇壮に見えます。しかし、喜びも束の間、その後は例年のない高温が続いてまた雪は解け出しています。雪の解けたところから顔を出した草地を狙って、マヒワが我先にと落ちている実を頬張ります。極端な気候を心配する人間をよそに、動物たちはたくましく躍動しています。

☆☆☆温根内ビジターセンター周辺の自然情報☆☆☆

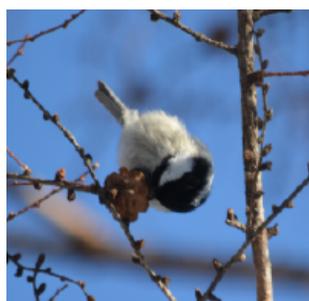


現在、木道は改修工事のため、温根内ビジターセンターからは木道へは通行できません。

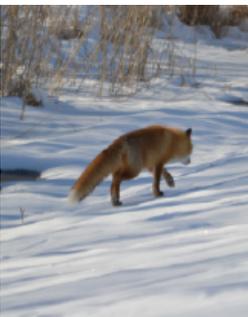
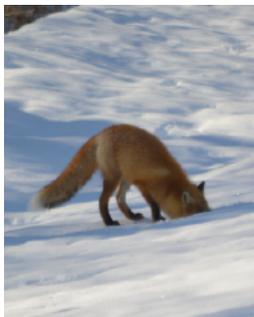
～温根内ビジターセンター周辺の自然～



【ベニヒワ】 冬鳥
アトリ科 紅鶉
マヒワの群れに紛れていました。温根内での確認は3シーズン振り。ベニヒワだけの100羽以上の群れを見かける時もあります。



【ヒガラ】 留鳥
シジュウカラ科 日雀
針葉樹の実を好んで食べています。高い声で「ツィー、ツィー」などと鳴き、群れを作って木から木へと移動していました。



【キタキツネ】 イヌ科 北狐
フサフサの冬毛が愛くるしいこの時期のキタキツネ。遠くから観察していたところ、何度も同じ場所で「ピョンッ」とジャンプしては前脚で雪の上を叩いていました。前脚の衝撃音で、雪の中に潜んでいるネズミ類を脅かして、出てきたところを捕まえる作戦だったようです。しかし結局、お目当ての餌は捕らえられず、しょんぼり(?)して去っていく後ろ姿は何とも言えない哀愁が漂っていました…

○表紙の写真 上：キタキツネ 中右：雪をかぶったカンバタケ 中左：マヒワ 下：無数のネズミ類の足跡

○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（1月15日～2月14日）和名は日本鳥類目録第7版の順
 ■タンチョウ■トビ■オジロワシ■オオワシ■ハイロチュウヒ■ハイトカ■ノスリ■ケアシノスリ■コミズク■コ
 ゲラ■コアカゲラ■オオアカゲラ■アカゲラ■クマゲラ■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■ヒガラ■
 シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■キレンジャク（1/19 温根内初確認）■ゴジュウカラ■キバシリ■ツグミ■セグロ
 セキレイ■マヒワ■ベニヒワ■ウソ

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることは
 おやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いいたします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

◎「**湿原アニマルトラッキング**」1月19日 参加者：17名

湿原とその周辺に残る動物たちの痕跡から生態を探る、湿原アニマルトラッキングを行いました。講師を依頼した釧
 路市立博物館の貞國学芸員からは、まず痕跡を見つけるポイントや楽しみ方についてレクチャールームで解説いた



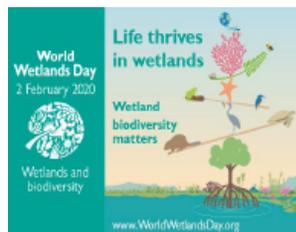
き、その後（木道は工事中で進入できないため）VCから新釧路川右岸堤防
 の方へゆっくり歩き始めました。散策の道中では早速、ネズミ類の足跡が雪
 上に認められ、足跡の特徴を観察し、どこから来てどこへ隠れたのかを皆で
 探りました。右岸堤防沿いには多数のエゾシカの足跡のほか、エゾキウサ
 ガの足跡も見られ、その足の運び方について講師から解説していただきま

した。また、エゾキウサギがヤナ
 ギの樹皮を食べた食痕も見つかり、
 彼らの歯の生え方や樹皮の齧り方
 も想像することができました。この日はエゾシカ数頭が至近距離に現れたほ
 か、会の最後には（スタッフも驚きの）キレンジャクの姿が見られ、アニマ
 ル”そのもの”も観察できた1日となりました。積雪の少ない厳しい条件で
 したが、冬を乗り越えようとしている動物たちの様々な営みを垣間見るこ
 とができ、参加者の皆さんも大満足の様子でした。



☆☆☆ 体験レポート「世界湿地の日記念・冬のエコツアー 2020」☆☆☆

2月2日は「世界湿地の日」、というをご存知ですか？
 1971年のこの日にラムサール条約*が採択され、これ
 を記念して各地でイベントなどが開催されます。そして
 釧路湿原は、ちょうど40年前の1980年に国内で最
 初にラムサール条約に登録された湿地であり、世界湿地



の日に合わせてツアーなど
 が開催されます（主催：釧
 路国際ウェットランドセン
 ター）。今回、私は2月1日
 に関われた世界湿地の日記念
 冬のエコツアーに参加してき

ました。ツアーの講師は、長
 年釧路湿原の調査・研究に携わっている新庄久志さん。
 標茶町内の釧路川沿い、通称「二本松」と呼ばれる地域
 を案内していただきました。ここでは、積雪期は丘陵地
 帯を登ることができ、蛇行する釧路川を見渡すことがで
 きます。新庄さんによれば、今となっては人は住んでい
 ませんが、この二本松地域には何件か住居があったそう
 で、よく見ると今でも丘の上には住居跡や畑の畝の跡が
 うっすら残っていました。さて、釧路川の蛇行の様子を
 丘の上から眺めると、今見えている川の脇には三日月状

の植生の違う箇所が
 残されています。これ
 が昔の釧路川が
 流れていた跡。では
 なぜ流路が変わった
 のか？それは、湿原
 内に道路（現在の道
 道1060号）を通



解説をする新庄さん

すため、盛土をしたのが原因でした。釧路川が本来分岐
 していた箇所を盛土でせき止めてしまったために、その
 分流量が釧路川に集中し、流路が直線的になってしまっ
 たと考えられているそうです。美しい景観を見せてくれ
 るこの湿原も、
 人間の手加
 わることで簡
 単に環境が
 変わってしまう
 ということ
 を改めて実感
 しました。（藤原
 伸也）



二本松の丘から見られる釧路川の流路跡

*ラムサール条約：湿地の保全と利用に関する国際条約。正式名は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」。
 採択が決定したイランの同都市名から命名された。

☆☆☆☆ 釧路湿原 関連施設紹介 ☆☆☆☆

つるい いたう
【鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ】 文・写真：櫻井真弓

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリは、温根内ビジターセンターから北に15キロほどの位置にあるタンチョウの給餌場です。11月から3月までの給餌期間中、多い日には200羽ほどのタンチョウが飛来します。その給餌場に隣接する日本野鳥の会直営のネイチャーセンターでは、私たち野鳥の会のレンジャーが、来館者にタンチョウの生態や保護の歴史について解説を



温かい館内から望遠鏡でゆっくり観察ができます



センター2F 展示スペース

しています。また、給餌場を見下ろす窓辺に置かれた望遠鏡や双眼鏡を使うと、暖かい館内からタンチョウを観察することができます。

温根内ビジターセンターで釧路湿原について学んだ後は、アイヌ語でサルルンカムイ（湿原の神）と言われるタンチョウのことを学びに来てください。ネイチャーセンターでは、等身大のパネルやぬいぐるみでタンチョウの大きさや重さを体感したり、四季折々のタンチョウの様子を映像で見することもできます。

タンチョウの美しい姿は見ているだけでも感動です。2月から3月上旬が、タンチョウ観察には最も良い時期です。2月中頃からは、つがいのタンチョウは盛んに求愛のダンスを踊ります。ダンスを見るなら給餌の時間がおすす



多くの人が訪れる給餌場



ダンスを踊って互いの絆を深めます

です。2月下旬ころからは、ドラマチックな子別れの様子も観察できますよ。

【開館時間】 9:00～16:00 【休館日】 火曜日・水曜日 年末年始（12/26～1/1）
 ※休館日も給餌場でタンチョウの観察はできます。4/1～9/30は休館しています
 【給餌期間】 11月から3月末頃まで9:00と14:00の1日2回
 （給餌時間は変更する場合があります） 問い合わせ→0154-64-2620

☆☆☆☆ イベントのご案内（3月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323
 ♪湿原の裏山でスノーシューハイク
 〔日時〕3月1日（日）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
 〔参加費〕無料 〔場所〕温根内ビジターセンター
 残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003
 ♪塘路フィールドウォッチング
 〔日時〕3月7日（土）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）
 〔参加費〕無料 〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～無料レンタル実施中！～
 今シーズンもようやく歩くスキー・スノーシューのレンタルを開始しました。工事中のため通常の本道はご利用できませんので、来館した際にコースについては職員の指示に従ってお楽しみください。



.....
 月刊 温根内通信 No.281
 発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター
 〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内
 Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185
 E-mail：ovc@hokkai.or.jp
 ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/
Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック
 開館時間：9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）
 休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館） 入館無料
